

国道325号ルート・構造に関する 技術検討会

平成28年5月12日(木)
国土交通省九州地方整備局
熊本河川国道事務所

議 事

1. 被災の現状	1
2. 復旧ルート決定の基本的な考え方	9
3. 調査内容の提案	10

位置図

<被災日時>

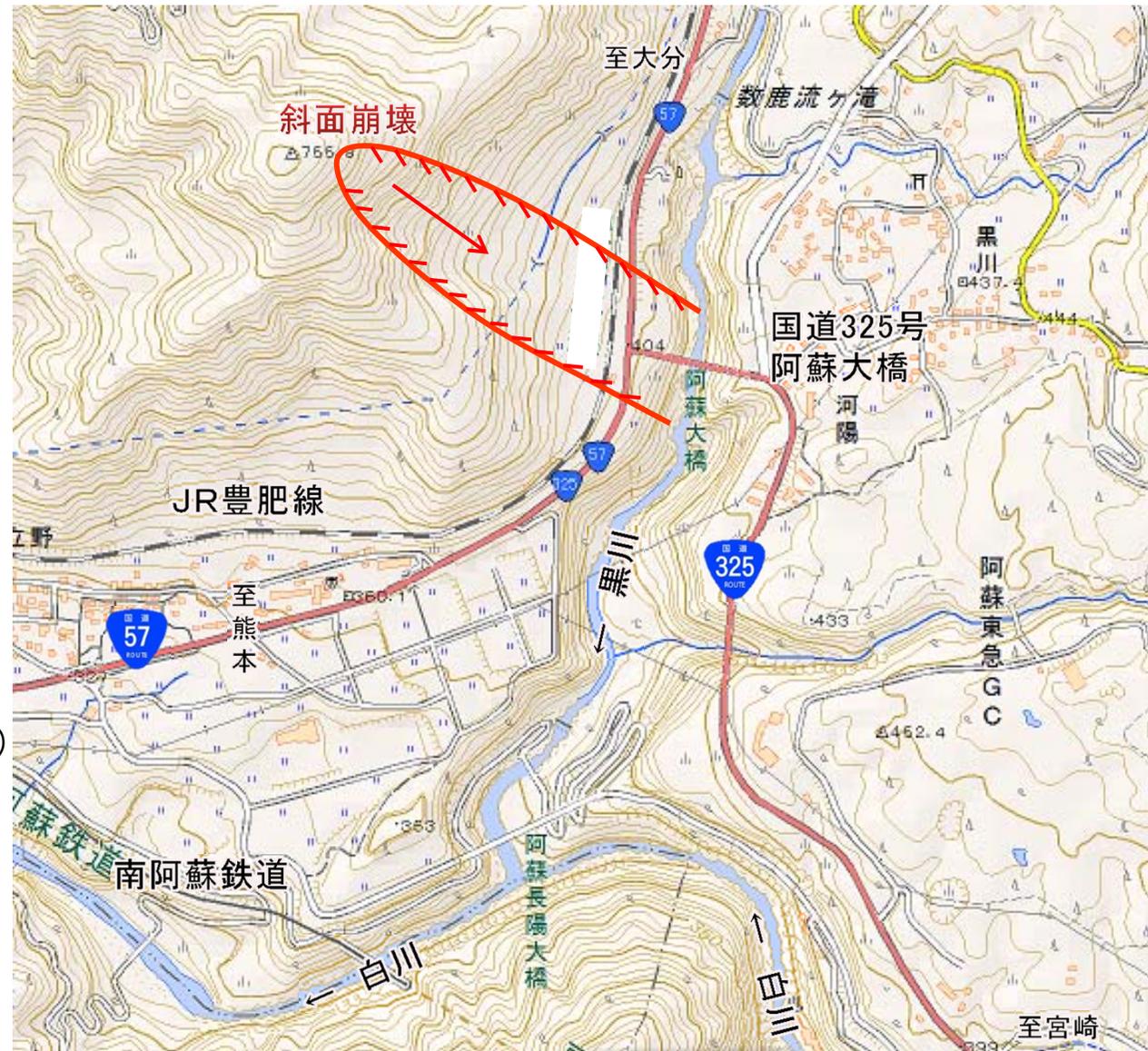
平成28年4月16日1時25分頃
※地震発生時刻

<被害状況>

- ・公共施設被害
国道57号(阿蘇大橋地区)
国道325号阿蘇大橋
JR豊肥線

<斜面崩壊規模>

- ・崩壊長 約700m
- ・崩壊幅 約200m
- ・崩壊土砂量 約50万m³
(地震直後のLP測量からの推定値)



被災前の状況



被災後の状況



崩壊箇所上部の状況



写真① 頂部滑落崖の状況



写真② 滑落崖の上端部



写真③ 崩壊面周囲の亀裂



国道57号、国道325号被災状況



国道57号（熊本側）被災状況

至
熊本



至
大分

熊本側崩壊箇所



至
大分

至
熊本

熊本から阿蘇大橋斜面崩壊箇所を望む



至
熊本

至
大分

熊本側崩壊箇所



至
熊本

至
大分

阿蘇大橋斜面崩壊箇所から熊本市内を望む

国道57号（大分側）被災状況



大分側崩壊箇所



大分側から大規模崩壊箇所を望む

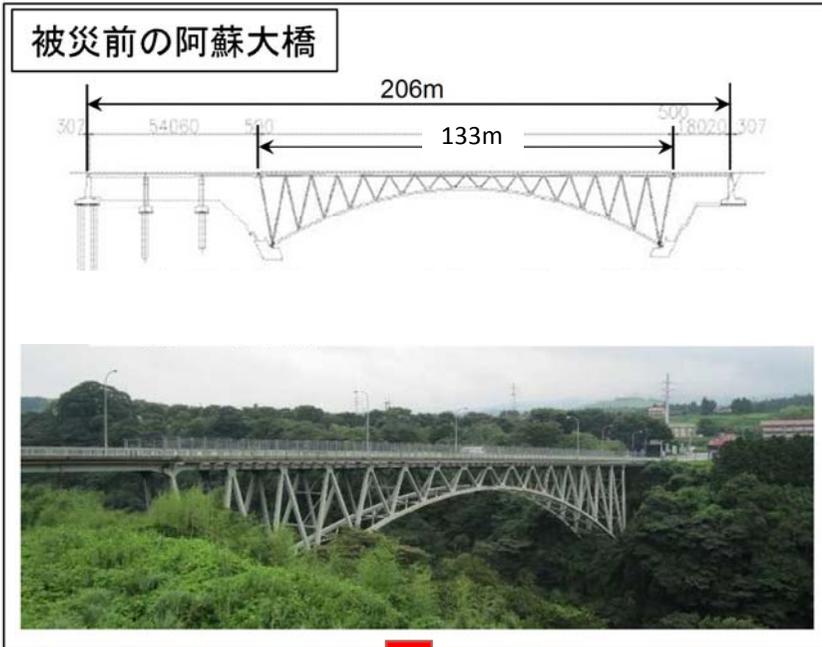


大分側崩壊箇所（JR豊肥線被災状況）



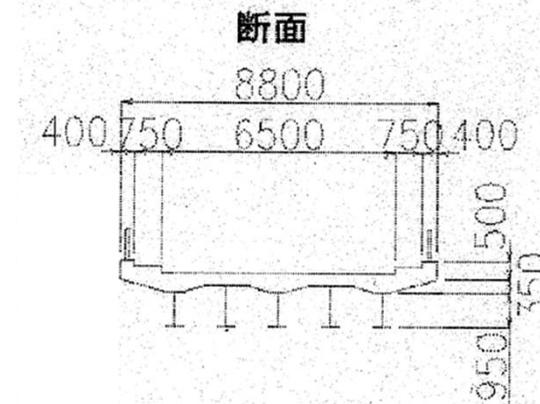
大規模崩壊箇所から大分側を望む

国道325号 阿蘇大橋の概要



橋梁諸元】

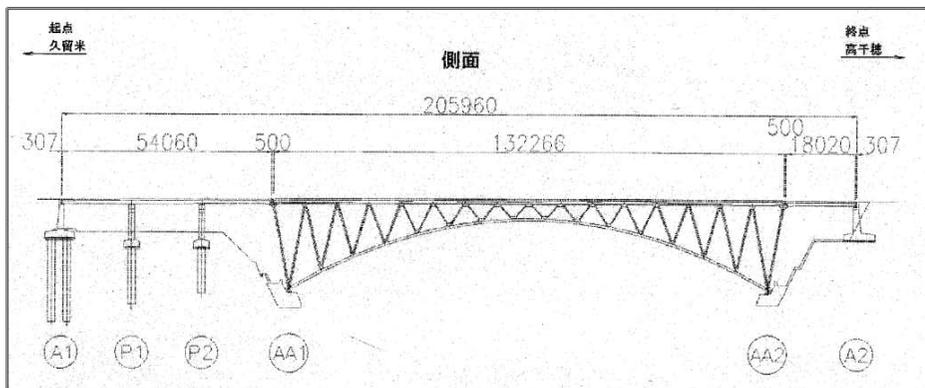
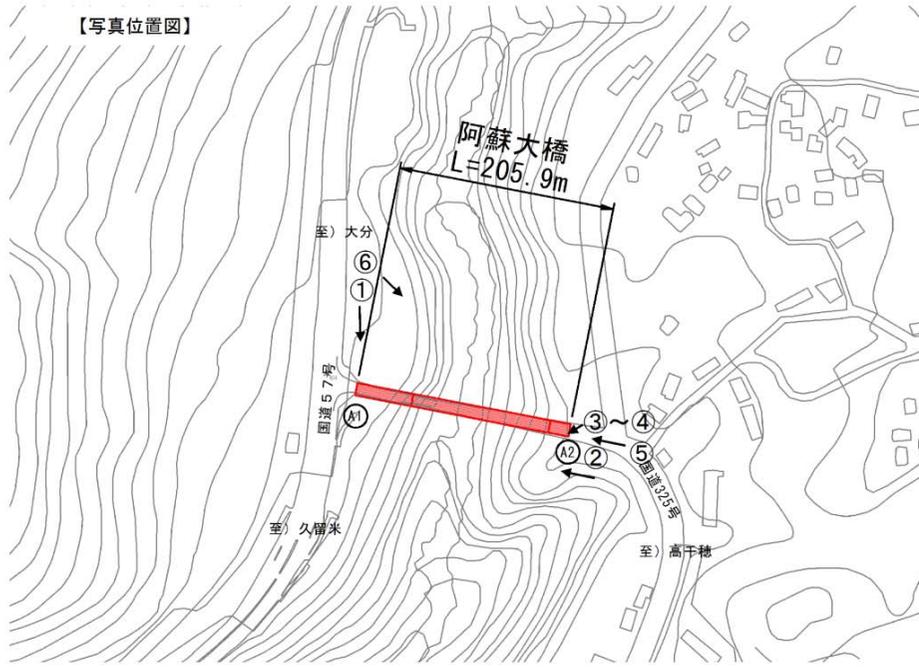
- ・橋梁名 : 阿蘇大橋
- ・管理者 : 熊本県阿蘇地域振興局
- ・施工者 : 石川島播磨重工
- ・橋種 : 3径間連続桁+トラス逆ランガー+単純合成桁
- ・橋梁 : 205.9m
- ・最大支間 : 132.7m
- ・幅員 : 8.8m
- ・竣工年次 : 昭和46年



国道325号 阿蘇大橋橋台部被災写真

<阿蘇大橋橋台部被災写真>

【写真位置図】



①A1橋台被災状況(大分側から)



②A1橋台側被災状況(高千穂側から)



③A2橋台橋座部損傷状況



④A2橋台側支承損傷状況



⑤A2橋台背面部損傷状況

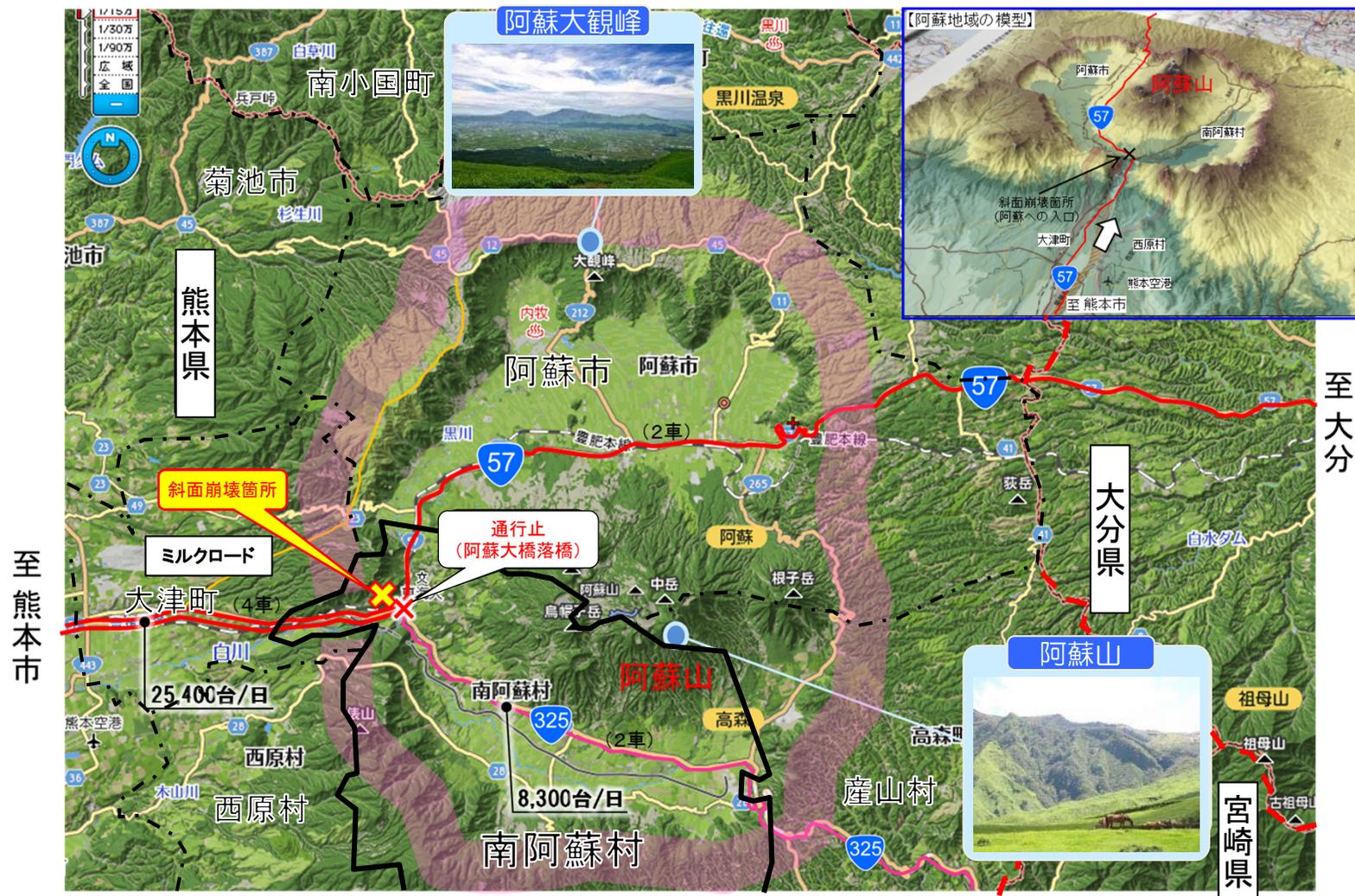


⑥A2橋台側被災状況(久留米側から)



■九州の中でも有数の観光地である阿蘇地域

- 阿蘇地域には、阿蘇山を中心とした国際的な観光地であり、毎年1,800万人の観光客が来訪
- 国道325号は、阿蘇山観光の玄関口であり、重要な観光ルートとしても早期の交通確保が求められている。
- さらに、阿蘇地域は年間800億円の売り上げを計上しており、交通遮断による熊本県の経済活動の影響も大きい



今回の震災を踏まえて安全性が高いルート

可能な限り早期に復旧可能

阿蘇観光の玄関口としての機能確保

地域間交流の保持
(南阿蘇村の地域分断の解消)

1. 先行調査

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・震央・断層位置の確認や地質構造等を調査 ・概略の橋台位置検討のための基盤岩の分布状況を調査
調査内容	○ 机上調査(震央分布調査)
	○ 上空からレーザースキャナ(メッシュデータ)による地形測量
	○ 自然放射能探査による地質構造推定
	○ 弾性波探査による地質構造推定
	○ ボーリング調査(標準貫入試験)

2. 本調査

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート決定後に橋台位置による詳細な地質調査
調査・試験内容	○ ボーリング調査
	○ 標準貫入試験
	○ 孔内水平載荷試験
	○ 三軸圧縮試験